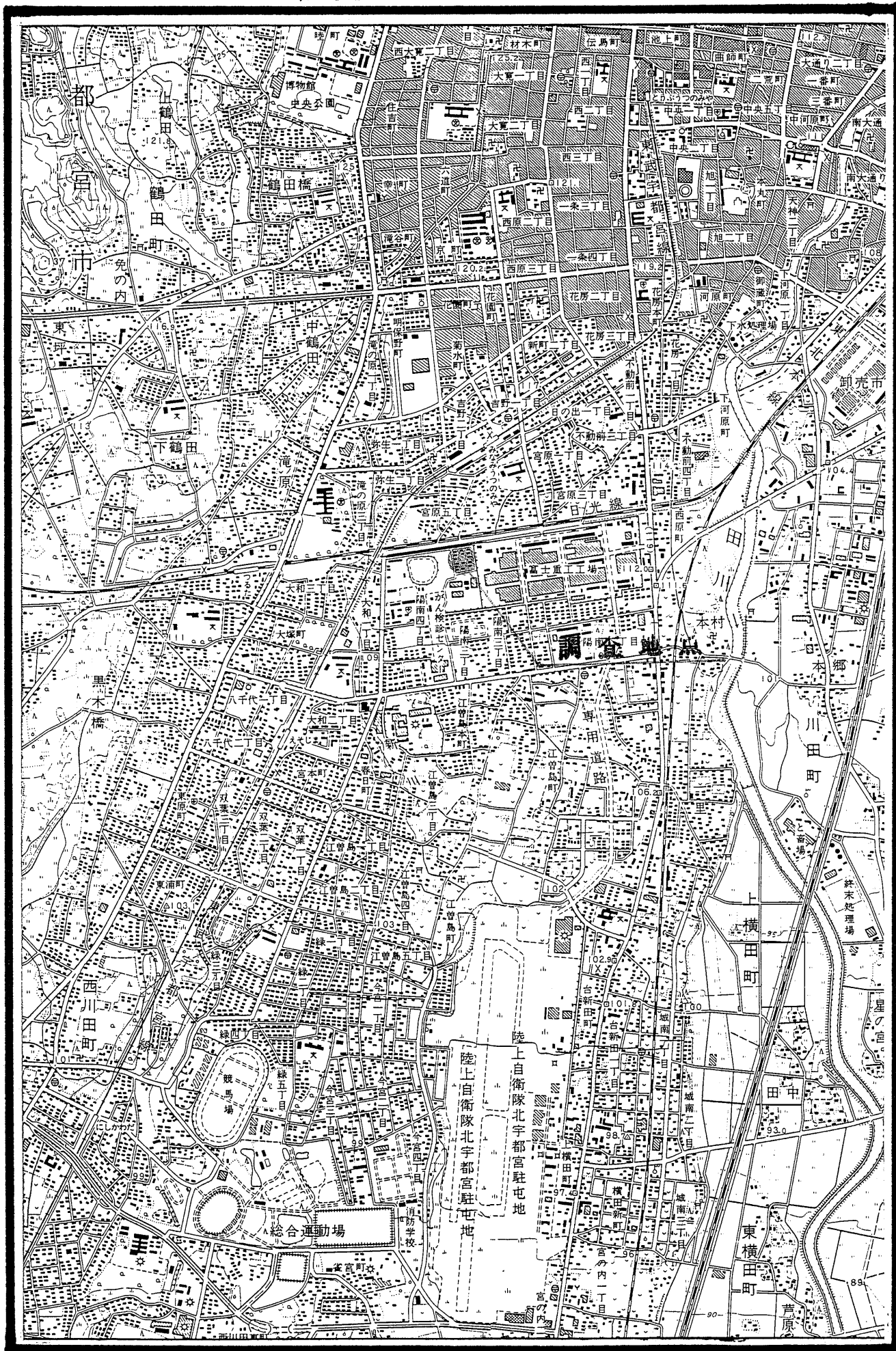
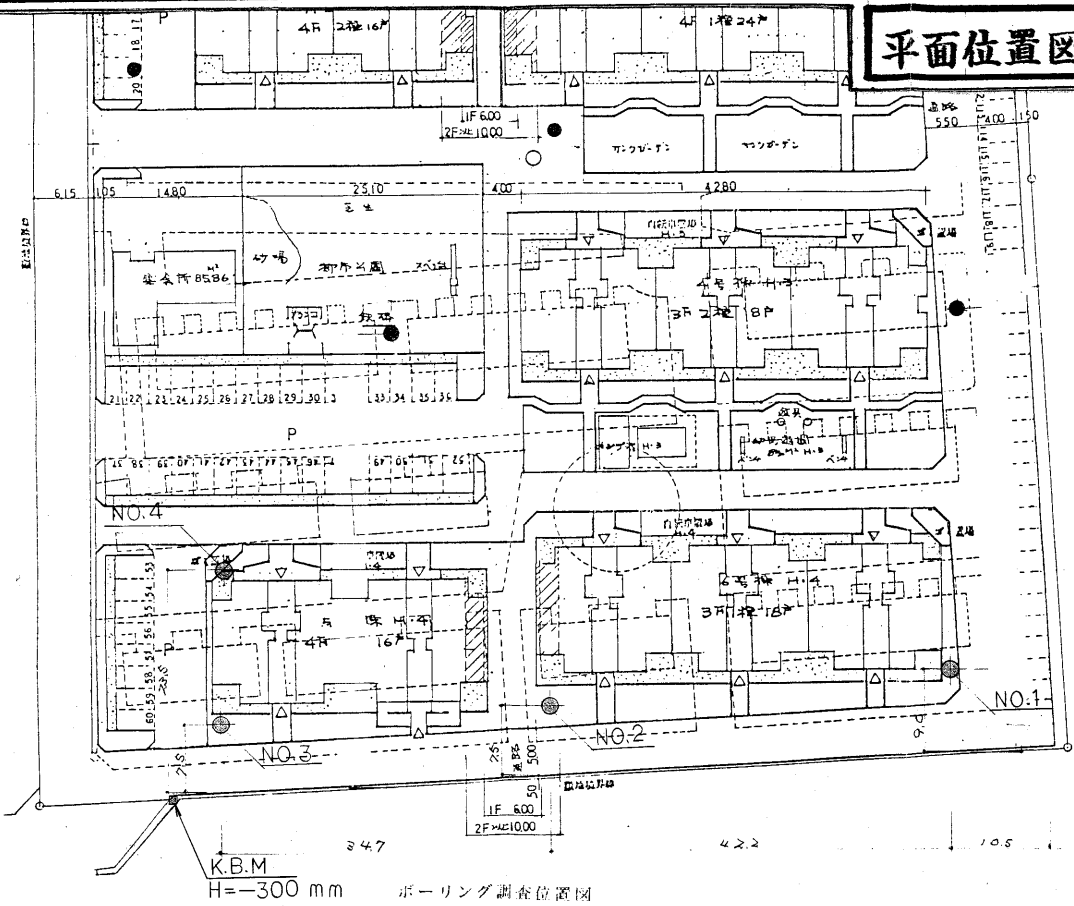


調査位置図

縮尺 S=1:25,000

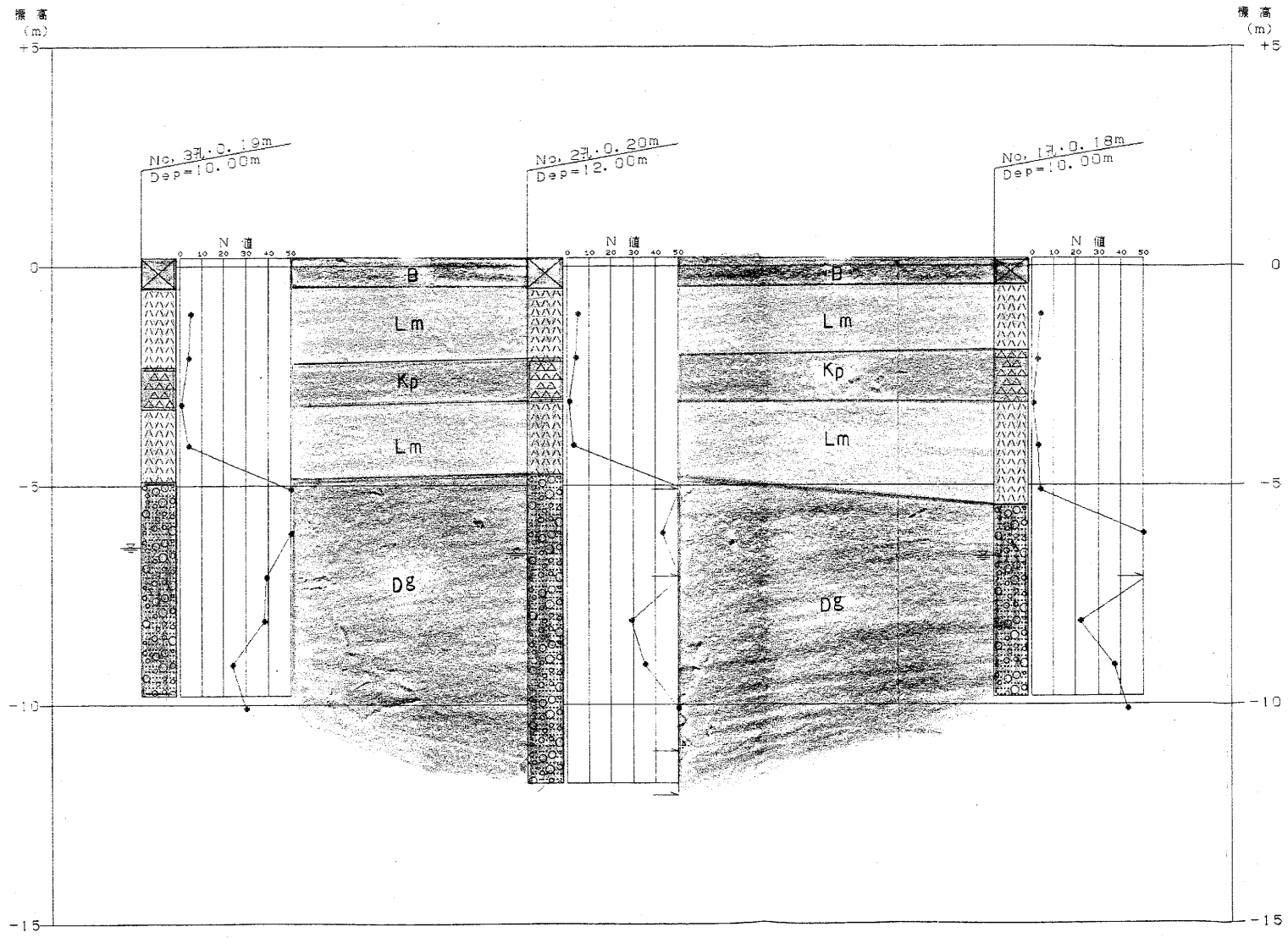


平面位置図 縮尺 S=1:400



想定地層断面図

縮尺: H=1/100, V=1/400

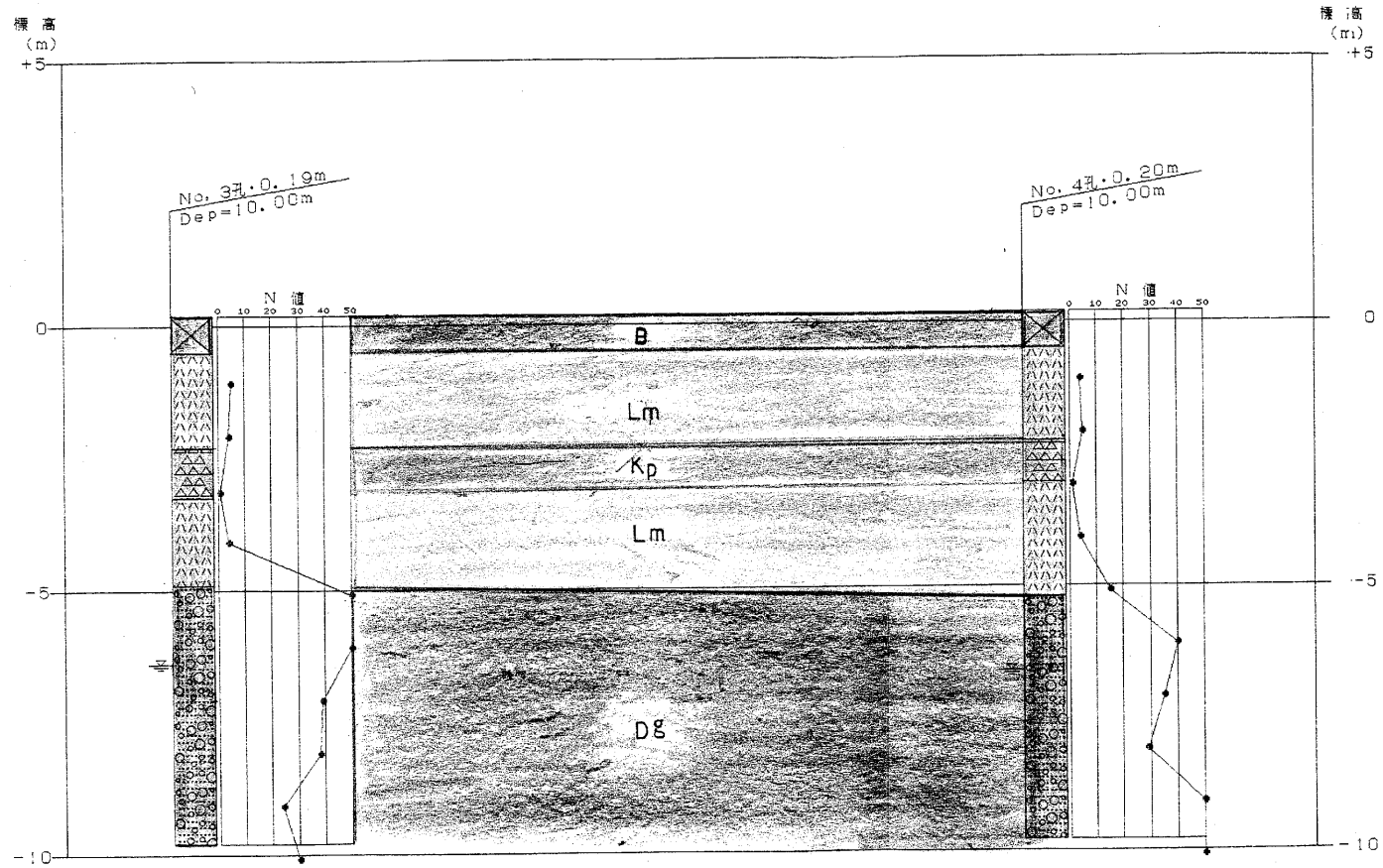


凡例

土質名	記号	彩色
盛土層	B	
ロ一ム層	Lm	
軽石層	Kp	
洪積砂礫層	Dg	

想定地層断面図

縮尺: H=1/100, V=1/100



凡 例

土 質 名	記号	彩 色
盛 土 層	B	
ロ ー ム 層	Lm	
軽 石 層	Kp	
洪 積 砂 礫 層	Dg	

ボーリング柱状図

調査名 宮原市営住宅新築工事地質調査

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 1 孔		調査位置	宇都宮市陽南地内			北緯	
発注機関	宇都宮市役所建設部			調査期間	平成 4 年 2 月 20 日 ~ 4 年 2 月 22 日		東経	
調査業者名	日本測地株式会社 電話(0285-84-5355)		主任技師	現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	0.18m	角	180° 上	方	北 270° 西	東 90° 南	地盤分配	使用機種
総掘進長	10.00m	度	90° 下	向	水平		試錐機	エンジン
							KR-100	ハンマー落下用具
							NS-8	ポンプ
								コーンブリー
								カノV6-S

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色相対調度	相対稠密度	相対密稠度	記事	標準貫入試験				原位置試験		試験採取番号	採取方法	室内試験(掘進月日)	
									深	10cmごとの打撃回数	打撃面数	貫入量 (cm)	深	試験名および結果				
-0.42	0.60	0.60	X	表土	黒褐色			若干の礫やコンクリート片混じる耕作土	1.15	1	1	2	4					
-1.92	1.50	2.10	/ / / / /	ローム	茶褐色			火山灰質粘性土 比較的均質な層相を呈する	1.45									
-3.12	1.20	3.30	X X X X X	軽石	黄褐色			鹿沼軽石 φ2~5mm程度	2.15	1	1	1	3					
-5.47	2.35	5.62	/ / / / /	ローム	茶褐色			若干の粘性に富む深度5.10m付近より砂質を呈する	2.50									
			O O O O O	砂礫	灰褐色			礫径Maxφ100~200mm程度の大礫(玉石)を希に介在し、φ10~50mm程度の円礫~亜円礫を主にマトリックス(基質部)は粗粒砂にてうずめられる 固結度は低くルーズな層相を呈する 深度8.10m~8.50m付近薄く砂層を挟む(段丘礫層)	3.15	1	1	2	4					
			O O O O O						3.50									
			O O O O O						4.15	1	1	1	3					
			O O O O O						4.45									
			O O O O O						5.15	1	1	2	4					
			O O O O O						5.45									
			O O O O O						6.15	23	27	15	50					
			O O O O O						6.45	15	15	15	30					
			O O O O O						7.15	22	17	11	50					
			O O O O O						7.42				27					
			O O O O O						8.15	7	8	7	22					
			O O O O O						8.45				30					
			O O O O O						9.15	11	13	13	37					
			O O O O O						9.45				30					
			O O O O O						10.15	16	14	13	43					
			O O O O O						10.45				30					

ボーリング柱状図

調査名 宮原市営住宅新築工事地質調査

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 2 孔		調査位置	宇都宮市陽南地内				北緯							
発注機関	宇都宮市役所建設部			調査期間	平成 4 年 3 月 4 日 ~ 4 年 3 月 6 日		東経								
調査業者名	日本測地株式会社 電話(0285-84-5355)		主任技師	現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者								
孔口標高	0.20m	角													
総掘進長	12.00m	度								方	北	東	南	西	270°
			向	地盤公配	鉛直	90°	水平	90°	使用機種	エンジン	NS-8	ポンプ	カノV6-S		

標尺 (m)	層高 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	標準貫入試験					原位置試験 深 度 (m)	試験名 および結果	採取 深 度 (m)	採取 方法	室内試験 ()	掘進 月 日
									深 度 (m)	10cm ごとの 打撃回数	打撃回数 貫入量 (cm)	N 値							
									3/4	6.75									
1	-0.50	0.70	0.70	表土	黒褐			耕作土 少量の植物根混じる	1.15	2	1	2	5	30	5				
2	-2.10	1.60	2.30	ローム	茶褐			火山灰質粘性土 少量の植物根混じる 比較的均質な層相を呈する	1.45	1	2	1	4	30	4				
3	-3.10	1.00	3.30	磐石	黄褐			鹿沼軽石 粒径φ2~5mm程度	2.45										
4				ローム	茶褐			深度3.6m付近より若干の砂質を 呈する	3.15	1	30	1	30	1					
5	-4.75	1.85	4.95	ローム	茶褐			やや均質な層相を呈する	3.45	1	1	1	3	30	3				
6									4.15	1	1	1	3	30	3				
7									4.45	15	20	15	50	28	54				
8									5.15	10	15	18	43	30	43				
9									6.15	10	15	18	43	30	43				
10									6.45	15	16	19	50	25	29				
11									7.15	15	16	19	50	25	29				
12	-11.80	7.05	12.00	砂礫	灰褐			礫径Maxφ100~200mm程 度の大礫(玉石)を希に介在しφ1 0~50mm程度の円礫~亜円礫を 主にマトリックス(基質部)は粗粒 分にてうずめられる 深度3.50m~8.80m付近薄く 砂層を挟む	7.40	10	9	10	29	30	29				
									8.15	11	11	13	35	30	35				
									8.45	14	16	20	50	30	50				
									9.15	18	25	7	50	23	23				
									9.45	16	25	9	50	24	24				
									10.15	16	25	9	50	24	24				
									10.45	16	25	9	50	24	24				
									11.15	16	25	9	50	24	24				
									11.38	16	25	9	50	24	24				
									12.15	16	25	9	50	24	24				
									12.39	16	25	9	50	24	24				

ボーリング柱状図

調査名 宮原市宮住宅新築工事地質調査

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 3 孔		調査位置	宇都宮市陽南地内				北緯		
発注機関	宇都宮市役所建設部			調査期間	平成 4年 2月24日 ~ 4年 2月26日			東経		
調査業者名	日本測地株式会社 電話(0285-84-5355)		主任技師	現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	0.19m	角	180°上	方	北	東	試錐機	KR-100	ハンマー 落下用具	コーンブリー
総掘進長	10.00m	度	90°下	向	270°西	90°東	エンジン	NS-8	ポンプ	カノV6-S

標尺 (m)	層高 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験				原位置試験 深度 (m)	試験名 および結果	採取番号	室内試験 方法	掘進 月日
									深さ (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値					
				表土	暗褐色			耕作土 比較的均質な層相を呈する	0	10	20						
1				ローム			軟らかい	火山灰質粘性土 比較的均質な層相を呈する	1.15	1	2	5/30	1.15	1	○		
2				ローム			軟らかい	火山灰質粘性土 比較的均質な層相を呈する	1.45	1	2	4/30	1.45	2	○		
3				軽石				鹿沼軽石 φ2~5mm程度	2.15	1	2	4/30	2.15	2	○		
4				ローム			非常に軟らかい	若干の粘性に富む 深度4.70m付近より砂質を呈する	2.45	1	2	4/30	2.45	3	○		
5				ローム			非常に軟らかい	若干の粘性に富む 深度4.70m付近より砂質を呈する	3.15	1	2	4/30	3.15	3	○		
6				砂礫			密な中位	礫径Maxφ100mm程度の大礫 (玉石)を介在する φ10~50mm程度の円礫~亜円礫を主にマトリックス(基質部)は粗粒砂にてうずめられる 固結度は低くやルーズな層相を呈する (段丘礫層)	3.55	1	2	4/30	3.55	4	○		
7				砂礫			密な中位	礫径Maxφ100mm程度の大礫 (玉石)を介在する φ10~50mm程度の円礫~亜円礫を主にマトリックス(基質部)は粗粒砂にてうずめられる 固結度は低くやルーズな層相を呈する (段丘礫層)	4.15	1	2	4/30	4.15	4	○		
8				砂礫			密な中位	礫径Maxφ100mm程度の大礫 (玉石)を介在する φ10~50mm程度の円礫~亜円礫を主にマトリックス(基質部)は粗粒砂にてうずめられる 固結度は低くやルーズな層相を呈する (段丘礫層)	4.45	14	18	50/30	4.45	5	○		
9				砂礫			密な中位	礫径Maxφ100mm程度の大礫 (玉石)を介在する φ10~50mm程度の円礫~亜円礫を主にマトリックス(基質部)は粗粒砂にてうずめられる 固結度は低くやルーズな層相を呈する (段丘礫層)	5.15	16	17	50/30	5.15	6	○		
10				砂礫			密な中位	礫径Maxφ100mm程度の大礫 (玉石)を介在する φ10~50mm程度の円礫~亜円礫を主にマトリックス(基質部)は粗粒砂にてうずめられる 固結度は低くやルーズな層相を呈する (段丘礫層)	6.45	15	13	39/30	6.45	7	○		
				砂礫			密な中位	礫径Maxφ100mm程度の大礫 (玉石)を介在する φ10~50mm程度の円礫~亜円礫を主にマトリックス(基質部)は粗粒砂にてうずめられる 固結度は低くやルーズな層相を呈する (段丘礫層)	7.15	16	11	38/30	7.15	8	○		
				砂礫			密な中位	礫径Maxφ100mm程度の大礫 (玉石)を介在する φ10~50mm程度の円礫~亜円礫を主にマトリックス(基質部)は粗粒砂にてうずめられる 固結度は低くやルーズな層相を呈する (段丘礫層)	7.45	10	7	24/30	7.45	9	○		
				砂礫			密な中位	礫径Maxφ100mm程度の大礫 (玉石)を介在する φ10~50mm程度の円礫~亜円礫を主にマトリックス(基質部)は粗粒砂にてうずめられる 固結度は低くやルーズな層相を呈する (段丘礫層)	8.15	9	10	30/30	8.15	10	○		
				砂礫			密な中位	礫径Maxφ100mm程度の大礫 (玉石)を介在する φ10~50mm程度の円礫~亜円礫を主にマトリックス(基質部)は粗粒砂にてうずめられる 固結度は低くやルーズな層相を呈する (段丘礫層)	8.45	10	11	30/30	8.45	10	○		
				砂礫			密な中位	礫径Maxφ100mm程度の大礫 (玉石)を介在する φ10~50mm程度の円礫~亜円礫を主にマトリックス(基質部)は粗粒砂にてうずめられる 固結度は低くやルーズな層相を呈する (段丘礫層)	9.15	9	10	30/30	9.15	10	○		
				砂礫			密な中位	礫径Maxφ100mm程度の大礫 (玉石)を介在する φ10~50mm程度の円礫~亜円礫を主にマトリックス(基質部)は粗粒砂にてうずめられる 固結度は低くやルーズな層相を呈する (段丘礫層)	9.45	9	10	30/30	9.45	10	○		
				砂礫			密な中位	礫径Maxφ100mm程度の大礫 (玉石)を介在する φ10~50mm程度の円礫~亜円礫を主にマトリックス(基質部)は粗粒砂にてうずめられる 固結度は低くやルーズな層相を呈する (段丘礫層)	10.15	9	10	30/30	10.15	10	○		
				砂礫			密な中位	礫径Maxφ100mm程度の大礫 (玉石)を介在する φ10~50mm程度の円礫~亜円礫を主にマトリックス(基質部)は粗粒砂にてうずめられる 固結度は低くやルーズな層相を呈する (段丘礫層)	10.45	9	10	30/30	10.45	10	○		

ボーリング柱状図

調 査 名 宮原市営住宅新築工事地質調査

事業・工事名

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ボーリング名	N o . , 4 孔		調査位置	宇都宮市陽南地内			北緯	
発注機関	宇都宮市役所建設部			調査期間	平成 4 年 3 月 10 日 ~ 4 年 3 月 11 日		東経	
調査業者名	日本測地株式会社 電話(0285-84-5355)		主任技師	現場代理人	コ ア 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔口標高	0.20m	角		地盤公配	使用機種	K R - 1 0 0	ハンマー落下用具	コーンブリー
総掘進長	10.00m	度		試錐機エンジン	N S - 8	ポンプ	カノV6-S	

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対稠度	相対密度	記 事	標準貫入試験				原位置試験		試験採取		掘進月日	
									深 度 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	N 値	深 度 (m)	試験名および結果	深 度 (m)	試験採取方法		
1	-0.50	0.70	0.70	表土	暗褐			若干の礫やコンクリート片混じる耕作土	1.15	1	2	1	4	30	1.15	1	○	
2	-2.25	1.75	2.45	ローム	茶褐	中位		火山灰質粘性土 少量の植物根混じる	1.45	2	1	2	5	30	1.45	2	○	
3	-3.05	0.80	3.25	軽石	黄褐			鹿沼軽石 粒径φ2~5mm程度	2.15	2	1	2	5	30	2.15	2	○	
4				ローム	茶褐	軟らかい		若干の粘性に富む 深度5.20m付近より砂質を呈する 比較的均質な層相を呈する	2.45	1	1	1	4	30	2.45	3	○	
5	-5.20	2.15	5.40	砂礫	灰褐	密な中位		礫径Maxφ100~200mm程度 の大礫(玉石)を希に介在しφ10~50mm程度の円礫~面円礫を主にマトリックス(基質部)は粗粒砂にてうずめられる 固結度は低くルーズな層相を呈する 深度9.40m~9.80m付近薄く砂層を挟む(段丘礫層)	3.15	1	1	1	4	30	3.15	4	○	
6									3.45	1	2	1	4	30	3.45	5	○	
7									4.15	2	1	2	5	30	4.15	6	○	
8									4.45	2	1	2	5	30	4.45	7	○	
9									5.15	2	1	2	5	30	5.15	8	○	
10	-9.80	4.60	10.00						5.45	18	10	12	40	30	5.45	9	○	
									6.15	18	10	12	40	30	6.15	10	○	
									6.45	12	9	14	35	30	6.45	11	○	
									7.15	12	9	12	29	30	7.15	12	○	
									7.45	8	9	12	29	30	7.45	13	○	
									8.15	8	9	12	29	30	8.15	14	○	
									8.45	13	17	20	50	30	8.45	15	○	
									9.15	13	17	20	50	30	9.15	16	○	
									9.45	20	10	20	50	30	9.45	17	○	
									10.15	20	10	20	50	30	10.15	18	○	
									10.45						10.45	19	○	